Computer Setup

ユーザー ガイド

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国における登録商標です。Bluetooth はその所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて Hewlett-Packard Company が使用しています。Intel は Intel Corporation またはその子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Java は Sun Microsystems, Inc. の米国における商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

First Edition: March 2006

製品番号： 406808-291

目次

1 Computer Setup の操作

Computer Setup は、プリインストールされた ROM ベースのユーティリティで、オペレーティング システムが動作しない場合やロードしない場合にも使用できます。

注記 このガイドに記載されている Computer Setup のメニュー項目の一部は、機種によってはサポートされない場合があります。

注記 Computer Setup ではポインティング デバイスを使用できません。項目間を移動したり項目を選択したりするには、キーボードを使用してください。

注記 USB 接続されている外付けキーボードは、USB のレガシ サポートが有効な場合にのみ Computer Setup で使用可能です。

Computer Setup を起動するには、メニューから [File] (ファイル)、[Security] (セキュリティ)、[Diagnostics] (診断)、[System Configuration] (システム構成) の順に選択します。

1. コンピュータの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に「F10 = ROM Based Setup」(ROM ベースのセットアップ) というメッセージが表示されている間に F10 キーを押して、Computer Setup を起動します。

   Computer Setup には以下のショートカットがあります。

   - 言語を変更するには、F2 キーを押します。
   - 操作情報を表示するには、F1 キーを押します。
   - 開いているダイアログ ボックスを閉じて Computer Setup のメイン画面に戻るには、Esc キーを押します。

2. **[File]** (ファイル) **[> Security]** (セキュリティ) **[> Diagnostics]** (診断) を選択するか、**[System Configuration]** (システム構成) を選択します。

3. Computer Setup を終了するには、以下のいずれかの操作を実行します。

   - 設定を保存しないで Computer Setup を終了するには、矢印キーで **[File]** (ファイル) **[> Ignore Changes and Exit]** (設定を変更せずに終了) の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。
   - 設定を保存して Computer Setup を終了するには、矢印キーで **[File]** (ファイル) **[> Save Changes and Exit]** (設定を保存して終了) の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

設定は、コンピュータを再起動したときに有効になります。

2 Computer Setup のデフォルト設定

Computer Setup のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に [F10 = ROM Based Setup] (ROM ベースのセットアップ) というメッセージが表示されている間に F10 キーを押して、Computer Setup を起動します。

   Computer Setup には以下のショートカットがあります。

   - 言語を変更するには、F2 キーを押します。
   - 操作情報を表示するには、F1 キーを押します。
   - 開いているダイアログ ボックスを閉じて Computer Setup のメイン画面に戻るには、Esc キーを押します。

2. 矢印キーで **[File]** (ファイル) **[> Restore defaults]** (デフォルト設定に戻す) の順に選択し、Enter キーを押します。
3. 確認ダイアログ ボックスが開いたら、F10 キーを押します。
4. **[Restore defaults]** (デフォルト設定に戻す) チェック ボックスをオンにして、Enter キーを押します。
5. この操作の実行を確認するには、F10 キーを押します。
6. 設定を保存して Computer Setup を終了するには、矢印キーで **[File]** (ファイル) **[> Save Changes and Exit]** (設定を保存して終了) の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

設定は、コンピュータを再起動したときに有効になります。

注記　出荷時設定に戻しても、パスワードとセキュリティの設定は変更されません。

3 Computer Setup のメニュー

以下のメニュー一覧では、Computer Setup のオプションの概要を示します。

注記 この章に記載されている Computer Setup のメニュー項目の一部は、機種によってはサポートされない場合があります。

[File] (ファイル) メニュー

オプション	機能
System information (システム情報)	● コンピュータおよびバッテリ パックの識別情報を表示します。 ● プロセッサ、キャッシュおよびメモリ サイズ、システム ROM、ビデオのリビジョン、キーボード コントローラのバージョンの仕様情報を表示します。
Restore defaults (デフォルト設定に戻す)	Computer Setup の設定を出荷時設定に変更します (出荷時設定に戻しても、パスワードとセキュリティの設定は変更されません)。
Ignore changes and exit (設定を変更せずに終了)	現在のセッションで入力した変更を取り消し、 終了してコンピュータを再起動します。
Save Changes and Exit (設定を保存して終了)	現在のセッションで入力した変更を保存し、 終了してコンピュータを再起動します。変更は、コンピュータを再起動したときに有効になります。

[Security] (セキュリティ) メニュー

オプション	機能
Setup password (セットアップ パスワード)	セットアップ パスワードを入力、変更、または削除します。
Power-On password (電源投入時パスワード)	電源投入時パスワードを入力、変更、または削除します。
Password options (パスワード オプション)	• 厳重セキュリティを有効または無効にします。 • コンピュータ再起動時のパスワード要求を有効または無効にします。
DriveLock passwords (DriveLock パスワード)	• コンピュータのハード ドライブおよびオプションのマルチベイ ハード ドライブの DriveLock を有効または無効にします。 • DriveLock のユーザー パスワードまたはマスタ パスワードを変更します。 注記　DriveLock の設定を操作するには、コンピュータの電源を入れて (再起動ではなく) Computer Setup を起動する必要があります。
Smart Card security (スマート カードのセキュリティ)	スマート カードおよび Java™ Card の電源投入時認証を有効または無効にします。 注記　スマート カードの電源投入時認証は、オプションのスマート カード リーダーを使用しているコンピュータのみでサポートされます。
TPM Embedded Security	Embedded Security for ProtectTools のオーナー機能への不正なアクセスを防ぐ TPM (Trusted Platform Module) Embedded Security のサポートを有効または無効にします。詳しくは、[ヘルプとサポート センター] の『*ProtectTools セキュリティ マネージャ リファレンス ガイド*』を参照するか、Credential Manager for ProtectTools のヘルプを参照してください。
System IDs (システム ID)	ユーザー定義のコンピュータ資産およびオーナーシップ タグを入力します。
Disk Sanitizer (ディスク クリーナ)	プライマリ ハード ドライブ上のすべての既存データを破棄します。以下のオプションがあります。 • Fast (高速): ディスク クリーナの消去サイクルを 1 回実行します。 • Optimum (最適): ディスク クリーナの消去サイクルを 3 回実行します。 • Custom (カスタム): 一覧からディスク クリーナの消去サイクルの回数を選択します。 注意　ディスク クリーナを実行すると、プライマリ ハード ドライブ上のデータは完全に破棄されます。

[Diagnostics] (診断) メニュー

オプション	機能
Memory Check (メモリ チェック)	システム メモリの総合的なチェックを実行します。
Hard Drive Self-Test options (ハード ドライブの自己診断オプション)	システム上のハード ドライブまたはオプションのマルチベイ ハード ドライブの総合的な自己診断を実行します。

[System Configuration] (システム構成) メニュー

オプション	機能
Language (言語)(または F2 キーを押す)	Computer Setup の言語を変更します。
Boot options (ブート オプション)	• 起動時の F9、F10、および F12 の各キーの遅延を設定します。 • CD-ROM からのブートを有効または無効にします。 • フロッピーからのブートを有効または無効にします。 • 内蔵ネットワーク アダプタからのブートを有効または無効にし、ブート モード (PXE または RPL) を設定します。 • マルチブートを有効または無効にして、システム内の多くのブート デバイスのブート順序を設定します。 • ブート順序を設定します。

Device configurations (デバイスの構成)	• Fn キーと左側の Ctrl キーの機能を入れ替える。
	• 起動時に複数の標準ポインティング デバイスを有効または無効にします (起動時に、通常は非標準の単一のポインティング デバイスがサポートされるように設定するには、**[Disable]** (無効) を選択します)。
	• USB のレガシ サポートを有効または無効にします。このオプションを有効にすると、USB のレガシ サポートが有効になります。
	    • Microsoft® Windows® がロードされていなくても、USB キーボード、マウス、およびハブを Computer Setup で使用できるようにします。
	    • ハード ドライブ、フロッピー ディスク ドライブのディスク、コンピュータまたはオプティカル ドッキング デバイスに USB 接続されたオプティカル ディスク ドライブなどのブート可能な USB デバイスからコンピュータを起動します (一部のモデルのみ)。

オプション	機能
	• Intel SpeedStep Technology を自動または無効にします。 • パラレル ポートのモード (EPP (拡張パラレル ポート)、標準、双方向、ECP (拡張機能ポート)) を選択します。 • BIOS DMA のデータ転送を有効または無効にします (一部のモデルのみ)。 • AC コンセントへの接続時にシステム ファンを有効または無効にします。 • Intel または AMD の PSAE 実行無効設定を有効または無効にします。有効にすると、プロセッサで一部のウイルス コードの実行を無効にすることができます。この機能によりコンピュータ セキュリティが強化されます。 • LAN 省電力を有効または無効にします。有効にすると、未使用時の LAN の電源がオフになり、省電力化されます。 • SATA のネイティブ サポートを有効または無効にします。 • デュアル コア CPU を有効または無効にします。 • セカンダリ バッテリの高速充電を有効または無効にします。
Built-In Device Options (組み込みデバイス オプション)	• 組み込み WWAN デバイスの無線通信を有効または無効にします。 • 組み込み WLAN デバイスの無線通信を有効または無効にします。 • 組み込み Bluetooth® デバイスの無線通信を有効または無効にします。 • LAN/WLAN スイッチを有効または無効にします。有効にすると、LAN が使用できない場合または切断されている場合に WLAN に切り替わります。 • Wake on LAN from Off を有効または無効にします。 • 周囲光センサを有効または無効にします。
Port Options (ポート オプション)	• シリアル ポートを有効または無効にします。 • パラレル ポートを有効または無効にします。 • フラッシュ メディア リーダーを有効または無効にします。 • USB ポートを有効または無効にします。 **注意** USB ポートを無効にすると、高度なポート レプリケータのマルチベイ デバイスおよび ExpressCard デバイスも無効になります。

オプション	機能
	● 1394 ポートを有効または無効にします。 ● カードバス スロットを有効または無効にします。 ● ExpressCard スロットを有効または無効にします。 ● 赤外線ポートを有効または無効にします。

索引